

「入善町商工会青年部」部報

# 商工青年

発行日／平成26年4月24日

発行者／入善町商工会青年部

入膳5232-5

第51号



～2014 冬遊ぼう～

## 第14回入善ラーメンまつり

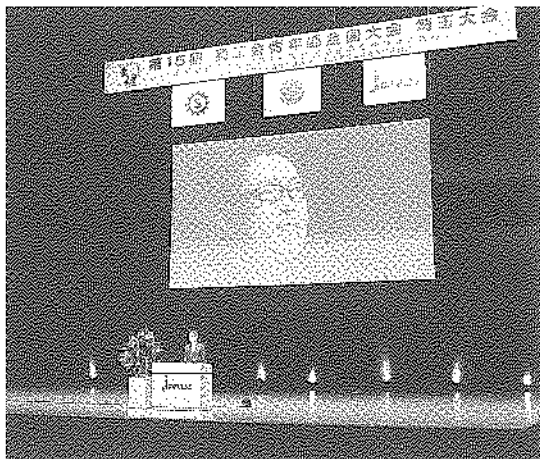
(2月22日・23日)

# 商工会員 募集中! 青年部員 募集中!

- 入善町商工会ホームページ <http://www.nyuzenmachi-shokokai.jp/>
- 富山県商工会青年部連合会ブログ <http://www3.shokoren-toyama.or.jp/seinen/>
- 全国商工会青年部連合会Mail Magazine <http://21impulse.jp/>

## 平成25年度事業報告(下半期)

- 9月12日(木) 愛の献血運動
- 10月19日(土) 入善まつりんぴっく2013(青年部カレー試食会開催)
- 12月2日(月) 忘年会 新人賞 魚津 善明
- 2月4日(火) 第15回商工会青年部主張発表全国大会
- 2月22日(土) 第14回入善ラーメンまつり  
23日(日)
- 3月20日(木) 元気な商工会地域づくり支援事業事例発表会
- 3月23日(日) 卒業式 卒業生: 愛場 正実・浜木 辰也・横田 智大



主張発表全国大会



入善ラーメンまつり

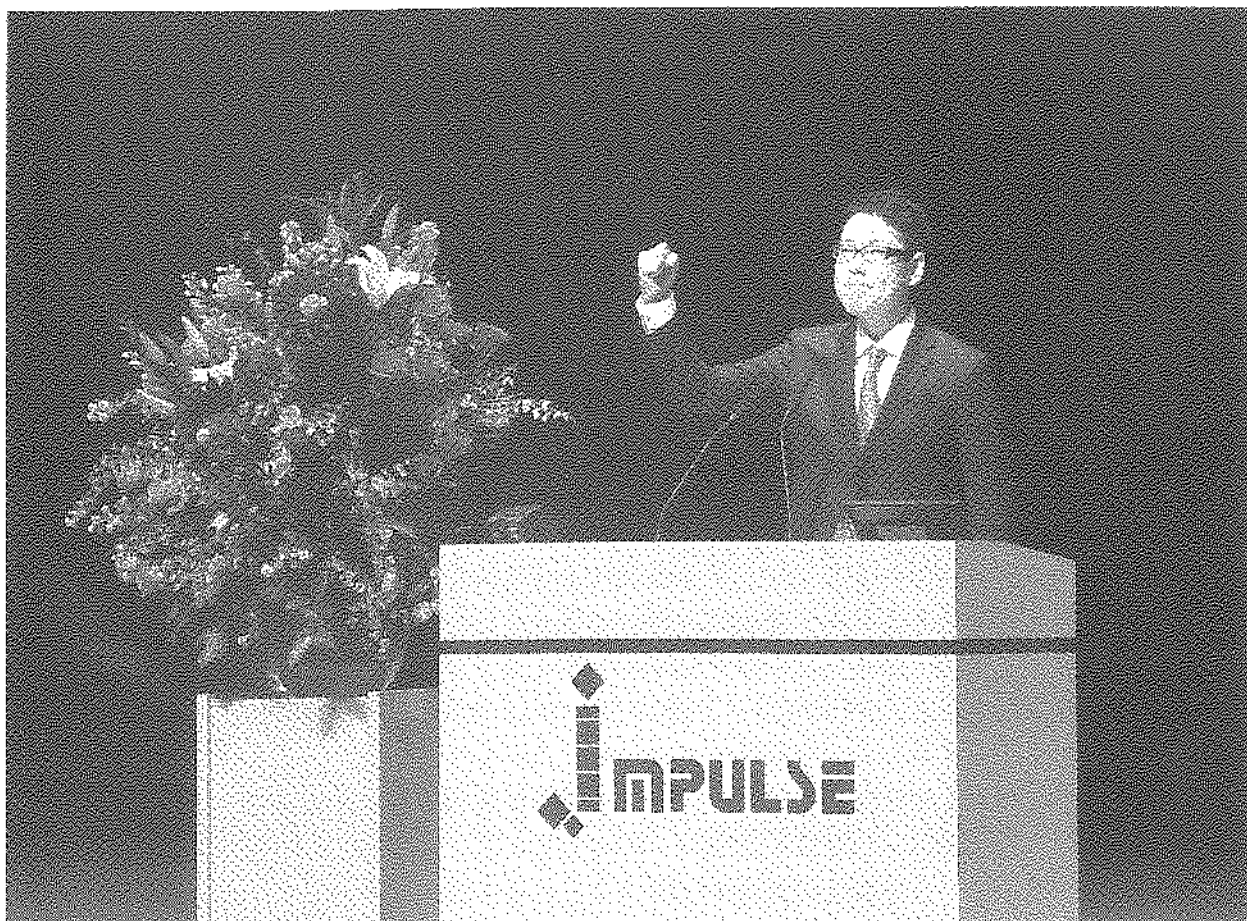


愛の献血



商工会青年部全国大会

# 上野幸樹君 第15回商工会青年部主張発表 全国大会優秀賞 受賞



第15回全国商工会青年部全国大会が2月4日、5日の両日埼玉県のさいたまスーパーアリーナにて開催され、上野幸樹君が中部ブロック代表として「主張発表全国大会」に出場し、見事優秀賞を受賞しました。以下、上野君の主張発表本文を掲載します。

私の考える青年部活動とは人口増加と若者の流出を防ぐことです。

みなさん、こんにちは。私は、入善町商工会青年部の上野幸樹と申します。仕事は入善で祖父の代から続く料理屋をやっています。父母と私の三人でやっている小さな店ですが、地元根付いた、お客様から愛されるお店を目標に日々、がんばっております。

私は入善で生まれ入善で育ち、人生のほとんどの時間を入善で生きています。この仕事についても私を育ててくれた入善で生きていたいという強い思いがあったからです。そんな私が青年部に入会したのもごく自然な流れでした。

入会したのは7年前、その当時、私は仕事に対して非常に行き詰っていました。なぜなら、当時は法要の後の食事会がメインの仕事。お客さんに若い人はあまりいませんでした。このままでは、私の代になったときに、この仕事を続けていけるのだろうか。結婚もしたいし、子供も欲し

#### (4) 商 工 青 年

い。しかしこれといった対策もなく、自分の技量の未熟さを時代のせいにして、努力もせず、ただ、酒を飲んで現実逃避、自己嫌悪の日々でした。父とはいつも方向性の違う喧嘩ばかり。それをみて悲しそうな顔をする母親。跡取り息子の私がこんなことから家や店の中はあまり良い雰囲気ではありませんでした。

それは青年部に入ってから、ずっと悩んでいました。

あるときの飲み会の席で、当時の部長に悩みを話していると、『若い人がおらのやったら、自分で増やせばいいにかよ、いっそのこと、そういうイベント企画してみいよ』と言われました。

最初は、そんなこと簡単にできるわけないやろと思っていたのですが、青年部活動での経験がその考えを実現する力を私にくれたのです。

それが、去年初めて開催された青年部主催の町コン、『仮面で町コン！入善ジャンボコンパ！「出会い」に入魂だっ！』です。

町コンという形をとれば、若い人たちにも自分の店をアピールできるし、これをきっかけに結婚をしてくれれば、思い出の場所ということで、また私のお店を利用してくれるかもしれません。絶対に町コンから、結婚するまでの男女を成立させてみせる。私は強く決意しました。

目標人数は男女合わせて、400名です。町の飲食店を会場に、前半、後半の二つの時間帯にわけ、参加者同士が新しい出会いを求めて交流する。そんなイベントです。多くの人に来てもらうためには、インパクトが大事です。そしてこういった交流イベントでは、まず気恥ずかしさを取り除かなくてはなりません。仮面をつければ、恥ずかしさなんてなくなるだろう。仮面で町コン、私の中で思い描く、ビジョンができました。

そして次はイベント会場の設置です。町の飲食店を会場にするのですが、初めてのイベントです。前例もなく実績もありません。最初は戸惑いを見せていた飲食店ですが、私が悩んでいたのと同じように、どこも売上が落ちているのが現状です。そこで私の思い、自分のお店を町コンを通じてアピールしませんか、きっと売上につながりますよ、と伝えたところ、そこまで言うのやったら、とりあえずやってみっか、と共感してくれました。

だが、良いことばかりではありません。イベントの第1次締め切りのときです。参加者が少ない。男女合わせて100人弱。TVCMまで使って宣伝したのに。樂觀していたわけではありませんが、予想外の展開でした。本番まで、日もあまりないのに、こんな状況。本当に途方にくれていました。ただ私は絶対に参加者を満足させる自信がありました。参加さえすれば、絶対に楽しく、有意義なものにする、と。

そんな時に力を貸してくれたのはやはり青年部員です。みんなが私の想いを形にしようと積極的に動いてくれる。こんな嬉しいことはありません。

結果、2時締め切りの時には、定員までとはいきませんでした。男女合わせて250名まで増えました。

そして第一回日の町コン当日。私は今まで味わったことがない、不安と期待が入り混じった、胸の高鳴りを感じながら、町コン受付会場に行きました。そこでは仮面を照れくさそうに持ったたくさんの若者達が、これから始まる新しい出会いを待っているように見えました。いよいよ町コンの開催です。仮面をつけた若者が町を行進するという、いつもの商店街とは違う装いを見せていました。そして飲食店会場に行くと、私の日に飛び込んできたのは、お酒を交わしながら楽しそうに談笑している沢山の若者たち。また忙しい中でも生き生きと笑顔で接客する飲食店のスタッフ、どの光景も私が今まで見たことのない、飲食店の雰囲気でした。そして大盛況のまま町コンは終了しました。

その後、実はこんなことがありました。イベントが終わり、自分の店に戻ったところ、そこにいたのは、町コンで仲良くなった、たくさんの若者たちでした。町コンのときよりも緊張が解けたようで、みんな和気藹々（わきあいあい）と楽しそうです。そしてまた、夜九時にも関わらず、人善の商店街は若者で賑っていました。これもまたいつもは見ることができない光景の一つでした。

こんな光景をこれからもずっと見ていたい、そう思いました。

この町コン開催に当って私は、多くのことを得ることができました。まずは自分の最初の目的である、若い人に私のお店をアピールできたこと。

また当初の目的とは違った考えも得ることができました。町コンをやっている間、…時的ですが、町には若者が溢れ、商店街は活気に満ち溢れました。

当たり前のことかもしれませんが、こういった町の賑わいが自分たちの仕事に帰ってくるのだと、再認識させられました。

だからこそ、私たちが今やらなければいけないことは、人口増加と若者の流出を防ぐことではないのでしょうか？

そのためには、我々の元気を地域に伝えることが大事です。最初は小さなものかもしれませんが。それでも、行動し、続けていくことができれば、いつか大きな元気になる、と私は信じています。そしてそのためには、我ら事業者がしっかりとした基盤、すなわち自分の仕事を安定させることから、はじまると思います。そしてそれを一緒に実現できる仲間をどんどん増やすこと。それが私の思い描く商工会青年部です。

地域の力が弱まっている今こそ、青年部の力を発揮する時だと思っています。地域に根付いた、地域に必要とされる活動を継続して、行っていこうと思っています。その中でわれら、事業者、事業後継者も経験し、学び、成長していかなければなりません。

我々青年部は行動力、瞬発力があります。また若者ならではの怖いもの知らずの大胆な精神で、活力ある町作りを目指していこうではありませんか！

昨年9月に二回日の町コンが盛大に開催されました。今回は定員を大きく上回る応募がありました。

これを持ちまして、町コンは継続事業としての第一歩を踏み出したと思います。

私は商工会青年部に入って7年、その間、多くの事業に参加してきました。そんな私が今強く思うことは、どのようなことにおいても、自分の確固たる思いがあれば、必ず結果がついてくる、と。

最後にもう一度言わせてください

私の考える青年部活動とは人口増加と若者の流出を防ぐことです。

たくさんの応援本当にありがとうございました！

## 第14回入善ラーメンまつり (2月22日・23日)

# 入善ラーメンまつりを終えて

実行委員長 古川 琢也



部長から「実行委員長をやってほしい」と言われ、体育会系で青春を過ごしてきた自分に刷り込まれた、先輩命令は絶対という教えから「はい!」と即答をした前回のラーメンまつり終了後。正直なところ、青年部に入って3年目の自分よりも、まだまだ経験のある先輩がやったほうがいいのか?でも、やります!と言ったからには…でも、…という自問自答がしばらく続きました。それに加え、今年の町コンでアフターパーティーの責任者として感じた敗北感を背負ったまま、ラーメンまつりの準備がスタートしたのを今でも覚えています。

「まずは組織図を完成させようか。各班の班長を誰にするか決めておいてほしい」と言われたときに、すぐに思ったのは、せっかくだから若いメンバー主体でやれたら面白いかなということ。実際に決まったメンバーはもしかしたら、今までで一番若いメンバーなのかもしれません。そして、9月の半ばから各班ごとに活動を始めました。しかし、上手くいかないことだらけでした。店舗はなかなか集まらず、他の班もあまり前に進むことができずにいました。しかし、このままで大丈夫かな?と不安に思っていると、すかさず先輩方のフォローで状況がよくなったりと、今振り返ると本番当日まで、山あり谷ありでしたが、若さの勢いで乗り切ったこともあれば、先輩たちの絶妙なフォローがあったりと若さと経験がうまくかみ合ってラーメンまつりの準備ができてきたと実感しています。

いざ、本番を迎えると心配していた天気も、まるで町合併60周年を祝うように両日とも快晴で、まさにイベント日和でした。初日の開会式には、石井富山県知事をはじめとする多くの来賓の方々にもご臨席頂きました。部長の挨拶とともに始まったラーメンまつりは、開始前からお目当てのラーメン店舗に行列を作る来場者で、にぎわいができていました。ピーク時には準備していた駐車場も満車になり、臨時駐車場を設けて対応するなど予想を超える来場者に正直、少しの

不安を感じながら、喜びを感じていたことを覚えています。にぎわいはラーメンまつり特設会場だけではなく、うるおい館2階で同時開催していた、スイーツ&ライブパフォーマンスフェスでも見ることができました。甘いものを食べながら、入善町で活動している団体様のダンスや音楽等を楽しんでいただき、また、姉妹都市である宮城県登米市から観光物産協会そして、愛知県木曾川商工会青年部の方々にも物販やスイーツ店舗として出店していただくことで、ラーメンまつりを通して県外の団体と絆を深めることができよかったです。うるおい館1階では、クラフト体験コーナー、うるおい館山側駐車場では、自衛隊の車両展示や子どもコスプレ体験など、子ども達も楽しめるイベントがあり家族連れの方々には、ラーメン以外でも喜んでいただくことができました。そして、土曜日限定で開催した記念写真コーナーでも、予想を上回る来場者があり青年部みんなで企画したイベントが全て来場者に楽しんでもらうことができました。

そして、今回の青年部一番の一押しと言っても過言ではないゴミステーションが、来場者から「いたれりつくせりやわ〜」と言っていただけのぐらい、見事に来場者に、そして運営側にも喜んでいただける仕組みができました。

農商工連携事業とも言える入善ラーメンまつりは、今年もたくさんのJAみな穂農協青壮年部のみなさんと一緒に運営することができました。最終日に全員で撮った集合写真は、入善町を若いもんで盛り上げるんだという意気込みを感じることができる1枚となりました。そして、もう一つの農商校連携事業である入善高校農業科との共同製作であるイエローラーメンが、特設会場20店舗中から来場者が1番美味しかったラーメンを決める入善ラーメングランプリ2014で見事グランプリに輝くことができよかったです。

最後に、「入部して間もない自分が、しかもあと青年部活動10年あるのに…」と思いながら始めた入善ラーメンまつり実行委員長は、今思えば、早くにやってよかったなと思います。この経験を、この先の自分自身の活動に、そして今後のラーメンまつりに活かしていければと思います。これからもよろしくお願いします！



## 卒業生の紹介

〈質問内容〉①名前 ②事業所名 ③加入年度 ④加入動機 ⑤楽しかったこと ⑥苦しかったこと  
⑦加入時と現在の違い ⑧今後の青年部に望むこと ⑨最後に一言



### ①愛場 正実

- ②有限会社 愛場農園造園土木
- ③4~5年前かな?
- ④他の会合で誘われました
- ⑤七夕のお化け屋敷
- ⑥ラーメン祭りの残飯整理
- ⑦年と共に忙しく成りました。
- ⑧益々のご発展ご健勝をお祈りいたします。
- ⑨ありがとうございました。



### ①浜木 辰也

- ②ワーブヘアー
- ③平成12年
- ④先輩に誘われて…
- ⑤THE 七夕
- ⑥特に無し
- ⑦いろんなことに挑戦している
- ⑧全国一の青年部!!
- ⑨私は27歳の時から13年間、青年部に在籍していましたが、あまり青年部活動に参加できませんでした。しかし、沢山の先輩方や後輩たちに出会えて、みんなで、1つのことをやり遂げた素晴らしさ、達成感は私の中でとても良い思い出になりました。仲間とは素晴らしいものです!皆さんに出会えたこと、有難うございます!!

## 平成25年度表彰者



### MVP 島瀬 航

青年部の今年度のMVPを頂きました島瀬航です。平成25年第2回入善ジャンボコンパの実行委員長をさせて頂きました。開催日までに参加者の募集が中々進まず、心配しましたが、皆さんの御協力のお陰で男女各150名・総勢300名の参加者が集まり盛況の内にイベントが開催されました。

これからも青年部の皆さんからご指導ご鞭撻を頂き頑張っていくきたいと思います。



### 新人賞 魚津 善明

いずみ魚津鮮魚 魚津善明です。青年部に所属させて頂き、新人賞まで頂き有難うございます。

先輩部員の方々に色々教えてもらいながら各種のイベント等のお手伝いをさせて頂きました。初めてのことも沢山あり、至らぬことも多くあったと思いますが大変勉強になった1年でした。

今年も初心を忘れずに青年部活動に邁進し入善町を盛り上げる手助けをしていきたいと思っています。これからも宜しくお願いします。

## 編 集 後 記

春光うらかな季節、皆様ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

昨年度の入善町商工会青年部の活動、大きな物としては8月に入善ふるさと七夕まつり、9月に入善ジャンボコンパ、2月には入善ラーメンまつりと皆様ご協力頂き有難うございました。

第2回となった入善ジャンボコンパは今後の継続事業となり、今年度もまた行うことが決まっています。

何より昨年度の一番大きなサプライズと言いますと、上野幸樹君の主張発表大会全国大会の出場がありました。関東ブロック大会、県大会、中部ブロック大会と勝ち進み入善町商工会青年部として初めて全国大会に出場、そして優秀賞を勝ち取ると大活躍されました。今後の上野幸樹君の活躍にも皆様ご注目ください。

今年度もこれから数々の事業が控えてはおりますが、私も微力では有りますが協力したいと思います。

(竹内崇裕)